

社会福祉法人 中部盲導犬協会

令和 6 年度 事業報告書

〔概 要〕

「中部盲導犬協会の発展と永続のために……」を目標に事業展開した。

盲導犬育成事業部

〔基本事業〕

1. 盲導犬の育成強化 ……別紙 1
愛知県.三重県.宮崎県.連合会の助成により、盲導犬 5 頭を育成貸与した。
2. 飼育費の支給
月額 4,900 円を上限として当協会から貸与している愛知県、名古屋市内の盲導犬使用者に対し補助した。
3. 盲導犬訓練士等の養成
盲導犬訓練士実習生を 1 名採用した。
4. 盲導犬に適する繁殖と子犬の作出の研究事業
繁殖センターの運用を図り、優秀な子犬の育成に努めた。
5. 普及啓発事業 ……別紙 2

<目標>

- ① 視覚障害者および一般市民に対して、身体障害者補助犬である盲導犬の役割を知らせた。
- ② 一般社団法人中部盲導犬協会支援センターと連携した。
 - 1) 盲導犬のデモンストレーションの実施
視覚障害者団体等に盲導犬貸与についての説明や体験歩行などを実施し、盲導犬貸与の促進を図った。
 - 2) 盲導犬体験
視覚障害者の盲導犬に対する、知識を深めるために 1 日体験会を実施した。
 - 3) 見学会の開催
個人や団体に対し、盲導犬への正しい理解と接し方などを啓発した。

- 4) イベント参加
各種イベントに参加して、盲導犬の理解を深めると共に動物愛護についての啓発を行なった。
- 5) 講師派遣
小・中学校、高校などへ出向き、総合学習などの授業を通して盲導犬への理解を深めた。
- 6) パンフレットの配布
盲導犬事業に対して幅広い市民の理解と協力が得られるように、視覚障害者関係団体や見学者等に配布した。
- 7) 協会ホームページの活用
インターネットやSNSの内容の充実を図り、盲導犬に対する理解と支援の輪を広げた。
- 8) 機関紙「ニューハーネス」の発行
協会事業の周知と情報開示を図った。
6. 職員研修会の実施
全国盲導犬施設連合会の研修をはじめ障害者関連の施設や盲導犬訓練施設など他協会にも派遣し職員の資質向上を図った。
7. ボランティアの強化
高校生サマーボランティアや中学生ボランティア体験を受け入れした。
8. 運営基盤の強化安定
 - 1) 盲導犬育成の支援団体の拡大
各法人、団体、組合、学校等からより多くのご支援が得られるよう努めた。
 - 2) 会費会員について
法人・個人に盲導犬育成事業についての理解を深めた。
 - 3) リサイクル活動の促進
 - ・書き損じハガキの回収運動
書き損じハガキを回収して運営資金や通信費として活用した。
 - ・アルミ缶回収
アルミ缶回収運動の輪を広げ、盲導犬育成に役立てた。

〔連携事業〕

1. 一般社団法人中部盲導犬支援センターと連携した。
2. あけびの会との連携
恒例の盲導犬使用者と慰霊祭・研修会等は実施したが、ハイキングは、雨天のため実施できなかった。
3. 豊田東名ライオンズクラブ「中部盲導犬協会後援会」の協賛事業
豊田東名ライオンズクラブを中心とした後援会の協賛事業としての、盲導犬チャリティーゴルフ大会に参加した。
4. 全国盲導犬施設連合会との連帯
連合会が実施する事業に参加し協力した。
5. 愛知視覚障害者援護促進協議会との連携
視覚障害者援護講習会等に講師派遣するとともに共催講習会も実施した。

〔重点事業〕

- ・岐阜大学との連携
盲導犬の人工授精に関する研究の一環で凍結精液を作成した
- ・財政基盤の安定
街頭普及活動を支援センターと連携し、普及啓発活動を実施した。
(名鉄百貨店前・尾張地区・三河地区協力施設等)

福祉事業部

〔基本事業〕

- ・居宅介護（ホームヘルプ）事業 ……別紙 3
名古屋事業所、浜松事業所の運営。
- ・特別養護老人ホーム 翠華の里 ……別紙 4
盲導犬及び家族同様のペット犬と一緒に入居可能な特別養護老人ホームの運営。(新城市湯谷温泉地区・定員 100 名)

以上

盲導犬育成報告

No.	ハッピー ウォーカー委託中	基本訓練	誘導訓練	訓練終了
1			→	三重県貸与
2			→	名古屋市貸与
3			→	PR犬
4		→		CC犬
5			→	宮崎県貸与
6		→		CC犬
7			→	愛知県貸与
8	→		→	訓練中
9			→	岐阜県貸与
10	→	→		CC犬
11	→	→		繁殖犬
12	→		→	訓練中
13	→		→	訓練中
14	→	→		訓練中
15	→	→		CC犬
16	→	→		CC犬
17	→		→	訓練中
18	→	→		訓練中
19	→		→	訓練中
20	→	→		訓練中
21	→	→		訓練中
22	→	→		訓練中
23	→	→		訓練中
24	→	→		CC犬

盲導犬育成報告

No.	パピー ウォーカー委託中	基本訓練	誘導訓練	訓練終了
25			→	訓練中
26			→	訓練中
27		→		CC犬
28			→	訓練中
29		→		繁殖犬
30		→		訓練犬
31		→		訓練犬

令和7年3月末日現在保有犬

盲導犬	33頭
訓練犬	15頭
繁殖犬	17頭
PR犬	3頭
パピーウォーカー委託中	10頭
パピーウォーカー委託予定	0頭
合計	78頭

繁 殖 事 業

1. 交 配

件 数 3 件

2. 出 産

件 数 2 件

産 子 数 14 頭（内、死産有り）

3. パピーウォーカー関連

委 託 11 家庭

しつけ教室 18 回開催

4. 繁殖犬の引退と導入

- ・繁殖雌犬 2 頭引退
- ・繁殖雄犬 2 頭引退
- ・繁殖雌犬 1 頭導入
- ・繁殖雄犬 3 頭導入
- ・現在、繁殖雄犬 9 頭（内、AGBN 委託犬 1 頭）と繁殖雌犬 8 頭（内、AGBN 委託犬 0 頭）で合計 17 頭を所有

5. 凍結精液の作成(岐阜大学との連携)

3 回

普及啓発事業

事業名	内容・実施数
講師派遣	小・中学校、高校などへ出向き、盲導犬の授業を行う。 (60～90分) 盲導犬への正しい理解と街中で出会った際の接し方などを啓発する。 啓発件数 57件 講師料総額 ¥1,168,320
見学会	4階大ホールにて個人・団体に向けて実施。定員120名。 盲導犬への正しい理解と接し方などを啓発する。 啓発人数 約1,250名 参加費総額 ¥328,000
イベント	各種イベントやお祭り、ショッピングモール等で、募金活動・チャリティーグッズ販売・デモンストレーション等を実施し、盲導犬の正しい理解を呼びかける。 56件
※支援センターと連帯募金活動	街頭募金活動 (名鉄百貨店前、東山公園前、大須商店、各店舗など) 1,239回
友の会	*ボランティア育成 116名 新規 28名
会員	特別会員 60名(内、新規会員：8名) 普通会員 251名(内、新規会員：19名)
ボランティア養成	あけびの会・学生ボランティア講習会 1件 生活支援連携 インターンシップ受入5名 高校生夏期サマーボランティア受入4名
自動販売機	新規設置：0台 継続設置：42台 計42台
学会・研修会	加盟施設職員相互研修(現地及びオンライン参加)
機関誌「ニューハーネス」	2,800部 (墨字版・4月発行) 2,800部 (墨字版・10月発行) 15部 (音声ファイル版) ×2回(4月、10月発行)

訪問介護事業所 サービス 事業報告（障害福祉サービス・介護保険）

◎障害者総合支援法 身体介護・家事援助

	訪問回数	身体介護時間	家事援助時間	利用者数
4月	244	261	11	8
5月	183	283.5	17	8
6月	163	260.5	20	8
7月	183	281.5	23	8
8月	174	277	22	8
9月	175	276	21	8
10月	184	283.5	23	8
11月	178	282	21	8
12月	183	284.5	22	8
1月	173	274.5	21	8
2月	166	262.5	20	8
3月	170	270	19	8
年度計	2176	3296.5	240	96

◎障害者総合支援法 移動支援

	訪問回数	訪問時間数	利用者数
4月	1	1	1
5月	1	1	1
6月	1	1	1
7月	1	1	1
8月	1	1	1
9月	1	1	1
10月	2	2	1
11月	1	1	1
12月	1	1	1
1月	1	1	1
2月	1	1	1
3月	1	1	1
年度計	13	13	12

◎障害者総合支援法 重度訪問介護

月	訪問回数	訪問時間数	利用者数
4	153	374	9
5	153	342	9
6	140	342.5	9
7	146	324.5	8
8	153	380	9
9	143	336.5	9
10	148	362.5	8
11	146	350.5	9
12	146	336	9
1	145	337.5	10
2	131	314.5	10
3	127	275.5	7
年度計	1731	4076	106

◎介護保険 身体介護

月	訪問回数	訪問時間数	利用者数
4	63	63	1
5	65	65	1
6	64	64	1
7	65	65	1
8	65	65	1
9	64	64	1
10	65	65	1
11	64	64	1
12	65	65	1
1	63	63	1
2	60	60	1
3	64	64	1
年度計	767	767	12

※職員・専従 6名（介護福祉士）・非専従 2名（介護福祉士・介護職員初任者研修了者）

※利用状況 障害契約者 11名（居宅介護・重度訪問介護10名 移動支援1名） 介護保険契約者1名

男性7名・女性4名（男性1名は介護保険併用）

※障害支援区分 区分4 1名 区分5 1名 区分6 9名 介護保険区分 要介護4

◎障害者総合支援法 身体介護・家事援助

	訪問回数	身体介護時間	家事援助時間	利用者数
4月	104	40.5	80.5	14
5月	107	48	92	14
6月	109	56	80	14
7月	120	59	89.5	15
8月	117	67	93	16
9月	113	58	86	15
10月	129	63	94.5	18
11月	138	71.5	95	18
12月	128	74	84	16
1月	130	81	84	17
2月	128	67.5	85	18
3月	141	82	92	18
年度計	1464	767.5	1055.5	193

◎障害者総合支援法 移動支援

	訪問回数	訪問時間数	利用者数
4月	7	13	3
5月	7	7	3
6月	11	12	4
7月	11	18	4
8月	8	22.5	5
9月	7	14	3
10月	10	14.5	5
11月	4	4	2
12月	7	13.5	4
1月	7	7	2
2月	9	17	4
3月	11	16.5	5
年度計	99	159	44

◎障害者総合支援法 重度訪問介護

	訪問回数	訪問時間数	利用者数
4月	0	0	0
5月	0	0	0
6月	0	0	0
7月	0	0	0
8月	0	0	0
9月	0	0	0
10月	0	0	0
11月	12	54	1
12月	8	25	1
1月	6	18.5	1
2月	4	6	1
3月	4	6	1
年度計	34	109.5	5

◎介護保険 身体介護

	訪問回数	訪問時間数	利用者数
4月	30	19	2
5月	33	21.5	3
6月	30	19.5	3
7月	29	19.5	3
8月	28	19	2
9月	26	18	2
10月	27	18	1
11月	27	18.5	2
12月	34	29	3
1月	32	26	3
2月	29	23.5	3
3月	28	19	2
年度計	353	250.5	29

※職員 ・専従 4名 (介護福祉士・実務者研修終了者) ・非専従 1名 (介護福祉士)

※利用状況 障害契約者 26名 (居宅介護・重度訪問介護20名 移動支援3名) 介護保険契約者3名 男性16名・女性10名

※障害支援区分 区分2 4名 区分3 6名 区分4 3名 区分5 2名 区分6 4名 児童 1名 区分なし 3名

介護保険介護度 要介護2 1名 要介護3 1名 要介護4 1名

特別養護老人ホーム運営事業

1. 職員の体制（令和 7 年 3 月 31 日）

職種	R6. 4. 1		採用/異動		退職		R7. 3. 31	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
施設長	1						1	
次長（兼務）	1		/1				0	
生活相談員	1		1/1				1	
介護支援専門員	1						1	
介護職員	38	9	4(1)/1	1	9	1	35	8
看護師	1	4	1	1	1		1	5
機能訓練指導員	1		(1)	1			1	1
管理栄養士	2						2	
事務員	1						1	
業務員(洗濯)		3						3
業務員(宿直)		5		3(1)		2		6
業務員(運転手)		2		1				3
家事支援員		6				2		4
合計	46	29	8/2	8	10	5	43	30
	75		16		15		73	

※R6. 4. 1：次長は生活相談員と兼務のため合計人数に含めない。

※R6. 4. 1 付の採用者は人数に含める、採用欄の（ ）内は R6. 4. 1 採用者

2. 事業内容

(1) ケア全般

施設目標を「入居者の尊厳を守り楽しく笑顔で生活できるよう支援する」と掲げ、個別ニーズを把握し、より質の高い介護サービスの提供に努めた。

(2) 連絡調整

入居後もあらゆる面で家族と関りが持てるよう支援した。また、感染症対策に伴う面会等の制限緩和により、外出・外泊される入居者が増えた。

(2) 地域交流

新型コロナウイルス感染症への対策を実施しながら、ボランティアの受入れ地域住民との交流機会を図った。

ボランティア

- ・ 8 月 16 日（金）東栄町の小・中学生のボランティア 15 名
（ハンドマッサージと歌）
- ・ 8 月 22 日（木）盆踊りボランティア 9 名
- ・ 10 月 25 日（金）秋祭りボランティア（入居者の誘導） 2 名

3. 年間行事

- 4 月 花見（施設周辺で花見）
- 5 月 端午の節句（鯉のぼり飾りつけ、菖蒲湯）
- 6 月 映画上映、紫陽花工作（全ユニット協力して作成した）
- 7 月 七夕（短冊を飾った）
家族参加の夏物衣料の買い物イベント（外部業者へ依頼）
- 8 月 盆踊り（地域ボランティア）
- 9 月 敬老会（行事食を提供し長寿を祝う）
- 10 月 秋祭り（屋台の雰囲気を楽しむ）
- 11 月 紅葉狩り（ドライブや足湯）
- 12 月 クリスマス会（飾り付けをし、サンタがお菓子を配る）
- 1 月 お正月（鳥居、絵馬、おみくじを作り初詣の雰囲気を楽しんだ）
- 2 月 節分（鬼を退治して一年の健康を願う）
- 3 月 桃の節句（ひな人形を飾り、抹茶を立て提供）

4. 入居受入状況

長期的に安定した施設経営を目指すために稼働率 97%を目標としたが、退居者数が新規入居者数を上回ったことや待機者の確保が出来ず達成できなかった。

【入居状況】 令和 6 年度

【短期入所】

月	入居者数		退居者数 (看取り)	入院 者数	在籍 者数	稼働率	利用者数 (実人数)	利用 日数
	男性	女性						
4	0	1	3(1)	5	76	78.0%	3	7
5	2	3	3(2)	4	78	77.1%	3	16
6	0	2	3(1)	7	77	77.1%	3	15
7	1	2	1	6	79	77.5%	3	31
8	2	1	3(2)	5	79	80.3%	3	14
9	1	2	3(2)	6	79	79.0%	0	0
10	2	2	1(1)	5	82	81.5%	0	0
11	1	2	2(1)	5	83	82.1%	0	0
12	3	2	2(1)	4	86	84.8%	0	0
1	0	2	3(1)	7	85	85.7%	0	0
2	3	1	2(2)	5	87	87.0%	0	0
3	2	1	7(3)	11	83	84.8%	0	0
計	17	21	33(17)	70		平均 81.2%	5	83

【要介護度別】 令和 7 年 3 月 31 日現在

	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	平均介護度
男	3	7	13	2	1	26	2.7
女	7	13	19	14	4	57	3.1
計	10	20	32	16	5	83	3.0

※平均介護度は短期入所を除く。

【年齢構成別】令和7年3月31日現在

	男	女	計
59歳以下	0	0	0
60～64歳	1	0	1
65～69歳	1	3	4
70～74歳	3	1	4
75～79歳	3	3	6
80～84歳	2	7	9
85～89歳	6	21	27
90～94歳	5	15	20
95～99歳	5	5	10
100歳以上	0	2	2
計	26	57	83

【市町村別】令和7年3月31日現在

		男	女	計
愛知県	新城市	14	34	48
	豊川市	2	6	8
	豊橋市	2	1	3
	設楽町	1	4	5
	東栄町	0	1	1
	豊根村	1	1	2
	岡崎市	1	1	2
	名古屋市	1	1	2
静岡県	浜松市天竜区	2	6	8
長野県	飯田市	0	1	1
三重県	四日市市	1	0	1
	熊野市	1	1	2
計		26	57	83

5. 職員研修

職員が統一した研修を実施できるようeラーニングによる研修実施した。受講者は増えたが、全職員が終了することはできなかった。

【施設内研修：eラーニング】

月	テーマ	対象者
4	・介護現場で気を付けたいプライバシー保護について ・社会人基礎スキル ・摂食、嚥下とは ・拘縮ケア研修 ・リーダーシップ研修	全職員 3年未満 3年～5年未満 5年以上 リーダー
5	・事故発生又は再発防止について ・電話対応、メール、来客対応	全職員 3年未満
6	・介護予防及び要介護度進行予防について ・チームでの仕事の進め方 ・摂食、嚥下訓練方法について ・褥瘡予防研修	全職員 3年未満 3年～5年未満 5年以上
7	・倫理及び法令遵守について・介護施設における虐待 ・排泄、入浴、食事介助の基本	全職員 3年未満
8	・感染症、食中毒の予防及び蔓延防止について ・知って得する正しい姿勢 ・口腔ケア研修 ・自立支援介護の実践研修	全職員 3年未満 3年～5年未満 5年以上
9	・接遇について ・知って得する利用者の力を活かす	全職員 3年未満
10	・緊急時の対応について ・虐待、不適切ケア防止の具体策 ・間接業務（掃除） ・服薬介助研修 ・水分ケアの理論 ・クレーム対応研修、リーダーの役割	全職員 全職員 3年未満 3年～5年未満 5年未満 リーダー
11	・身体拘束の排除、高齢者虐待防止について ・口腔ケア研修 ・間接業務（洗濯、リネン交換、配茶） ・歩行ケアの理論	全職員 全職員 3年未満 5年以上

12	・感染症及び災害に係る業務継続計画について ・ストレスとは ・福祉用具の基本「杖、歩行器、車椅子」	全職員 3年未満 3年～5年未満
1	・認知症及び認知症ケアについて ・ストレス対処法 ・福祉用具の基本「特殊寝台等」 ・排泄ケアの理論	全職員 3年未満 3年～5年未満 5年以上
2	・ターミナルケアについて ・感情のコントロール ・ヒヤリハットとは ・常食化ケアの理論	全職員 3年未満 3年～5年未満 5年以上
3	・医療に関する教育について ・ヒヤリハットのシーン別注意点 ・課題別ケア演習	全職員 3年～5年未満 5年以上

【外部講師研修】（研修数 20／参加延べ人数 84 名）

月	テーマ	職種	人数
7	【施設見学】 ・ユニットケア実地研修施設	介護職員 看護師	9 3
9	【実地研修】 ・ユニットリーダー研修	リーダー	1
10	【本部長研修】 ・身体拘束及び虐待防止研修	介護職員	4
11	【外部集合型】 ・嚥下調整食セミナー 【オンライン】 ・ユニットケア施設管理者研修	管理栄養士 介護主任	1 1
12	【外部講師集合型】 ・身体拘束及び虐待防止研修 ・ケアテックス名古屋 ・ユニットケアセミナー 【オンライン】 ・食に携わる職員のためのユニットケア研修	職員全員 施設長 管理栄養士 管理栄養士	26 1 2 1

1	【外部講師集合型】		
	・身体拘束及び虐待防止研修	全職員	24
	【外部集合型】		
	・高齢者虐待対応の研修	介護職員	2
2	・介護に関する入門的研修（3日）	介護職員	1
	・外国介護人材受入セミナー	施設長	1
	【本部長研修】		
	・ユニットリーダー研修	リーダー	3
	【外部集合型】		
	・外国人介護人材受入セミナー	介護主任	1
	・介護に関する入門研修（1日）	介護職員	1
	・養護施設従事者等による高齢者虐待防止研修	介護職員	1
	・外国人介護材指導担当職員特化型セミナー	生活相談員	1

以上